

(夜間例会) 退任挨拶 瀬尾昌資 会長 他 18:00~(於)札幌パークホテル

新会員卓話 小林秀次 会員

只今ご紹介頂きました、小林秀次でございます。昨年6月よりこの歴史と伝統ある札幌東ロータリーに入会させて頂きました。本日は皆様の貴重なお時間を頂戴し、私のこれまでの歩みと現在の業務内容についてお話をさせて頂きたいと思っております。どうぞお付き合い下さいます様、宜しくお願い申し上げます。

私は1970年1月に東京都武蔵野市に生まれ現在55歳です。家族は妻と3人の子供がおり、私を除いて神奈川県横浜市の自宅に4人で住んでいます。単身赴任は今年で11年目。趣味はゴルフです。社会人になってから始めました。ご縁がありまして4度の北海道勤務で覚える事が出来ました。次に経歴です。私は1歳で父親の転勤に伴い札幌市南区真駒内に引越し、小学校卒業迄11年間を過ごしました。幼少の頃から活発な子供でして、小学生時代はスキーに夢中で取組んでおり小学6年生の時にはSAJ公認スキーバジテストで2級迄取得しました。その後、中学校入学と同時に神奈川県川崎市に引越し、大学卒業迄関東圏で過ごしました。大学2年の時にサークルの先輩から長野県八方尾根スキー場の居酒屋住込みアルバイトを紹介して貰い、再びスキー熱に火が付きまして。日中はほぼ毎日スキーに打ち込み、念願の1級に合格する事ができました。札幌在住時にスキーに出会い、学生時代に夢中になった事は私にとって貴重な経験になっています。

続きまして、現在私が勤務していますあいおいニッセイ同和損保の事を少しご紹介させて下さい。当社は、1996年金融ビッグバン以降に存在していた4つの損害保険会社が、2001年と2010年に2回の合併でできた会社です。合併した4つ損害保険会社の内、千代田火災の源流が、1897年創業の小樽貨物火災で北海道生まれの会社です。おかげさまで、今年合併後15周年を迎え、今年3月にグループ会社の三井住友海上と2年後に合併する事を発表させて頂いた、そんな会社でございます。

次に、当社の特徴ある事業をご紹介致します。当社は「CSV×DX」という「社会との共通価値の創造」という考えを旗印にDXを活用した保険事業を通じて地域・社会の課題解決を目指している会社です。具体的には、事故後の損失補填(保険金を支払う)という従来の保険会社の役割からDXを活用して事故の未然防止・被害の極小化・迅速な事故解決をという新しい保険の価値を提供しています。CSV×DXの代表商品

であるテレマティクス自動車保険を簡単にご紹介します。通信機能を有している車載器からスマホを通じて走行データを取得し、安全運転度合に応じた保険料設定やデータを活用した事故対応等の新しいサービスを提供している保険です。この保険には専用アプリを通じた安全運転診断レポートや安全運転をスコア化し保険料を割引く制度等があります。又事故処理においても事故状況のデジタルマップへの可視化やドラレコ映像の示談交渉活用等のテレマティクス技術を活用しております。これらのサービスを導入する事で、事故発生頻度の低減・迅速な事故解決に繋がりお客様満足度も向上しています。加えて、安全運転を促進するサービスとして、専用アプリ内で当社独自のアルゴリズムによる「CO2排出削減量の可視化」も実現しております。この技術を活用して、昨年9月から「ゼロカーボン×エコドライブコンテスト」を開催しています。エコドライブを楽しみながらチーム制で平均スコアを競いCO2排出量削減に繋げて頂いています。このテレマティクス自動車保険を通じて、約地球579万周分の膨大な走行データが集まっています。これらのデータを保有するだけではなく、他のデータと掛け合わせて、新しい付加価値をつけていくことを目指して、現在も取組を進めております。その一例が交通安全マップの作成です。テレマティクス自動車保険より収集した走行データに基づき、急ブレーキ急ハンドル等の危険挙動箇所を地図上にマッピングして提供する事が出来ます。また交通量や交通ルートの確認も可能です。本マップにより道路標識・ガードレールの設置や通学路の見直し等の交通安全対策や効果的な道の駅の設置等様々な街作りに活用が可能です。

最後になります。我々企業が安定して事業継続するには、安心・安全な地域社会を作り次世代に繋げていく必要があります。その為にも、本来の保険事業にDXを掛け合わせ、新しい付加価値を提供する事でその実現に貢献していきたいと考えている会社に勤めています。以上で、私の新会員卓話を終了します。ご清聴、ありがとうございました。

